



サイジャーナル

月刊
23-9・10
第399号

日本サイ科学会 平成23年9月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097	中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫
---	--	--	--	--

九月本部例会のお知らせ

『3・11新文明の幕開け』
～日本人の使命～

講師 鈴木 俊輔氏

先の3・11、東日本大震災は未曾有の大災害であります。しかしこの天譴ともいえる大災害が何ゆえに日本に起こったのでしょうか？ 整然と一〇〇人以上も列を成して食料を求める被災者の姿に、海外のメディアは瞠目しました。略奪・暴動もないその秩序だった日本人のその姿に世界中が唖然としたのです。そして全ての日本人が今、「自分さえよければいい」という、これまでのワレよしの姿は払拭され、一億三千万の愛念意識が被災地一点へと集中しました。はつきりいって、新文明の幕開けなのです。日本人の偉大な意識が覚醒して、その内なるところから、外側の世界は創られます。大きな和とかいてヤマトと読ませる、その日本人の使命について古神道・言霊からの観点も含めて再認識したいと思えます。

昨年度までサトルエネルギー学会の事務局長をされていて、この分野に知識の深い鈴木氏の御講演ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●鈴木俊輔氏のプロフィール

東京生まれ。芝浦工業大学大学院修了工学修士。日産自動車中央研究所時代には金属合金設計、セラミックス物性、触媒の研究に従事。ついで多機能金属触媒「バイオカルム」を開発(日本表面処理学会柴田賞受賞)。

1996年、(有)テクノクエスト代表取締役社長。バイオカルムの応用研究と音響技術をはじめとする技術コンサルタントとして現在に至る。環境計量士・一級建築施工管理技師・騒音公害防止管理者でありこれまでの発明特許は1000件を超える。独自の水の研究、波動装置の研究という科学技術屋である同時に古神道・言霊の研究者でもある。近著に「サトルエネルギーのお話」(静岡出版)、「ことだまの科学」(明窓出版)がある。

日時 平成23年9月10日(土)
午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

今月号の記事

- ◎九月本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎事務局からのお知らせ
- ◎関西サイ科学会九月例会予告
- ◎関西サイ科学会十月例会予告
- ◎中部サイ科学会九月例会予告
- ◎日本サイ科学会創立35周年記念大会のお知らせとプログラム
- ◎十一月本部例会予告
- ◎第5回UFO・オーブシンポジウム報告
- ◎二月本部例会報告
- ◎五月本部例会報告
- ◎第三五七回関西サイ科学会報告
- ◎サトルエネルギー学会秋の大会
- ◎未知能力・現象の出現状況(1)

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(8/15受領分まで)

金一千元 小牧昭一郎様
金一千元 信太 民久様

◎事務局からのお知らせと
お願い

☆本部例会や大会等での運営ボラ
ンティア募集中

受付での資料配付、講演者スラ
イド発表時の電灯操作、コンピュ
ータ操作などのお手伝いをしてい
ただけませんか。当日の参加費が
無料になります。

●左記にご連絡願います。
office21@psij.mail-box.ne.jp



関西日本サイ科学会
九月例会のお知らせ

「未知エネルギーの研究と
チャネリング」

講師 井出 治氏

日時 平成23年9月17日(土)
午後1時半～5時
会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内
会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
十月例会のお知らせ

「2012年問題と
サイ科学的進化」

Scientific Evolution & 2012

講師 阿久津 淳氏

日時 平成23年10月15日(土)
午後1時半～5時
会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内
会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

中部日本サイ科学会
九月研究集会のお知らせ

会員三名の研究・体験発表

日時 平成23年9月10日(土)
午後1時半～5時
会場 つるまい会館2F
名古屋千種区吹上1・1・3

交通 JR中央線鶴舞駅、または
地下鉄鶴舞駅下車、名大病
院北イオン千種店前

会費 無料

※会員以外の方の参加も大歓迎

十一月本部例会予告

心霊現象について

講師 小林 信正氏

今年の三月十一日、東日本では
未曾有の大災害がありました。い
ま日本のみならず世界各地で異常
気象による津波、猛暑、干ばつ、
台風、洪水等々の自然災害に見舞
われています。さらに原発事故は
言うに及ばず、環境汚染や自然破
壊などの影響で私たちの住む地球
環境は急速に悪化し、生命の危機
に晒されています。これは人為的
災害であり、まさに人類が自らの
手で自分の首を絞めるような行為
といえましょう。

一方、政治の混乱、経済の破綻、
教育の荒廃、モラルの低下、家庭
の崩壊など混沌の一途を辿ってい
ます。さらに凶悪犯罪は激増し、
毎年自殺者も三万人を超えている
現状です。

いまは改革、激動の時代といわ
れ、旧来の価値観が打破され、新
しい価値観へと変革する陣痛の時
←(4頁に続く)

★日本サイ科学会 創立35周年記念大会★
(特別協賛：サトルエネルギー学会)

大会趣旨：日本サイ科学会は1995年に分科会のサイ実測研究会が、中国元極学の張志詳会長を日本に招いて東京や長野県で講演会を催したときに、長野県の長谷村（現在伊那市に合併）にある分杭峠が元極学の基地に匹敵するパワースポットであるという「お墨付き」をいただいたことがきっかけで、現在日本でも有数のパワースポットとして分杭峠に多くの人々が訪れております。

そのことも含めまして、パワースポットの現状や科学的な立場で検討するシンポジウムをプログラムのメインテーマに致しました。

(日時) 2011年10月9日(日) 10:00～16:45

(会場) 北とぴあ7階第2研修室

(交通) J R京浜東北線王子駅下車徒歩2分、ホーム最北端（赤羽寄り）の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

(会費) 会員 ¥2,000 一般 ¥3,000 学生 ¥1,000

※上記会員はサトルエネルギー学会会員も含む

<プログラム> (敬称略)

- 9:30 開場
- 10:00 - 10:10 開会の言葉
- 10:10 - 11:10 特別講演 苗 鉄軍
「生体複雑性に基づいたパワースポットの評価法」
- 11:10 - 12:10 特別講演 佐々木 茂美
「未知能力・現象の出現状況(願い事を叶える科学)」
- 12:10 - 13:20 昼休み
- 13:20 - 16:40 シンポジウム テーマ 「パワースポット」
大会委員長 小牧昭一郎
パネラー発表 久保田昌治 鯉江勇 苗鉄軍 佐々木茂美 小牧昭一郎
(途中休憩15分)

<パネルディスカッション>

- 16:40 - 16:45 閉会の言葉
- 17:30～ 懇親会(参加当日申し込み)

なのかもしれません。それは2012年問題の「アセンション」といわれる次元上昇と符合するものなのでしょうか。

明日が見えない現代、私たちは何を指針に生きてらよいのでしょうか。

人は必ず死ぬ運命にあります。死んだら肉体は灰となり一貫の終わりと考えるか、肉体という衣を脱ぎ捨て霊魂は存続してあの世へ旅立つと考えるか。

「霊魂とは？ 死後の存続とは？ 輪廻転生とは？ 現世の意味とは？」

この問題は有史以来、洋の東西を問わず、文化、宗教、哲学上でさまざまに論じられてきました。この人生最大の命題を解くカギが、いまや宗教や哲学でなく心霊現象の研究にあるのです。

さまざまな心霊現象の映像を試写しながら解説を行い、そこから何を学びとるか、皆さんとご一緒に考えてみたいと思います。

東京キーン局で長年心霊関係も含めた多くの番組を制作されたプロデューサーの御講演ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘い

して、是非ご参加ください。

●小林信正氏のプロフィール

日本サイ科学会理事。

(財)日本心霊科学協会常任理事。

JMC相談役。

東京生まれ。旧東京写真大学(現東京工芸大学)技術科、慶應義塾大学哲学科心理学専攻。フジテレビでは主に番組の企画制作に従事し、ドラマ、ワイドショー、ドキュメンタリー、バラエティーなどでディレクター、チーフプロデューサー、制作部長を務める。

大阪万博、筑波科学万博などの企画にも携わり、現在は「オーブ」や「特異能力」の研究に努めている。

日時 平成23年11月12日(土)

午後1時半～5時

会場

北とびあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費

会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

第5回 UFO・オーブ シンポジウム報告 (第13回宇宙生命研究分科会)

平成23年7月31日(日)午前・

午後とかけて、品川健康センター会議室で開催。緊急来日されたトロール・トフテネス助監督による解説付きで「ザ・デイ・ビフォア・デイスクロージャー」の上映も行われた。参加者の投票から第5回UFO・オーブ賞は井出治氏が受賞され、また異能分野の優れた研究者に贈られる第3回マジナル・サイエンス賞はトロール・トフテネス氏に決定！ 以下は講演内容である。

山口カール(フォト・アティエスト)「SPIRIT OF MU」

中津川 昂(サイキック・リサーチャー)「最新UFO情報」

ロン・薄葉(スピリチュアル・ヒラー)「オーブからのメッセージ」

田村良一(エネルギー研究者)「エーテルモーターとUFO」

宮本一聖(宇宙・科学・超常現象研究家)「UFO・宇宙人撮影研究

日記 総集編・最新情報」

アカイ☆コウジ(キャスター)「エリア5反田から」

川崎利男(川崎オーブ研究所)「2011年前半オーブ総括」福島

原発・セシウムオーブ研究中」

井出 治(クリーンエネルギー研究所所長)「脱原発と第三起電力」

岩崎士郎(反重力研究者)「USO

800と反重力」

宮内輝幸(医師)「スキニーボブの

真贋」ほか

◆ ◆

二月本部例会報告

世紀末的神示と予言の 陰陽道的思考

講師 石川 和孝氏

実は陰陽道(おんみょうどう)というのは元々日本の独特の体系なのです。平安期の天武天皇の時代にできたものです。天武天皇というのは、謎の人物なのです。おそらく日本の人ではありません。大陸から渡って来た人が天智天皇の跡を継いで天武天皇になったと思

われます。

何故かというところ、天武天皇の時代に大陸的な文化を大いに取り入れて、いろいろな形造りが行われたのです。たとえば伊勢神宮の20年ごとに行われる遷宮の制度(次回は2012年)は、天武天皇の時代から始まっております。遷宮はなぜ20年ごとに行われるのかということに関して、ある科学的根拠に基づいてやっているのです。

陰陽道というのは天文学であり、気象学であって、いろいろなデータを集めてから、官庁の立場で暦を作ったり占いをしていました。ですから陰陽師(おんみょうじ)というのは、古代日本の官職の一つなのです。

陰陽道というと安倍晴明が有名ですが、呪術家として悪霊と戦う話が出てきますが、実際にそういう事ではなくて、天文学博士の立場だったのです。平安時代というのは世の中が不安定期に入り、京都という所は、特殊なエネルギーをもった土地なので、いろいろな現象が起こり、安倍晴明が亡くなった後、「今昔物語」や「宇治拾遺物語」で神秘化され脚色されて、神秘的な逸話が作られたのです。

ただ宇宙の運行と人間の身体というのは非常に関係があります。現在地球は、温暖化していると言われていますが、今年の冬は暖冬でしょうか、みなさん! 違わないでしょう。だって去年までの数年間太陽の黒点が一度も観測されない日が異常に増えているんですよ。黒点が増えないということは、太陽活動が非常に低下しているということを表しています。ただその効果が地球全体に現れるのは3年後から6年後くらいタイムラグがあります。



太陽エネルギーが非常に低下すると、地球の内部のマントルが膨張してマグマが上昇してきて、地熱は熱くなり、温度が上がった海水も上がってきますが、上空は冷

えているので、雨や雪が多くなり、今年大雪が降ったのもその影響でしょう。

2011年は辛卯(かのと・う)の年ですが、辛は陰陽五行での「木・火・土・金・水」の金(かね)の年となり、金は鉱物も表しますから、火山の噴火や地震も増えます。これが陰陽道的な予測であり、こういうふうな現象が起こるだろうというふうになるのです。

だから私はいろいろな土地に行って何をするかというと、その土地がどういうふうな地龍で動いているのかを自分の身体を使って観測をしています。地龍(マグマの流れ)や水龍(地下に流れている伏流水)を診て、判断します。それが私の役目だと思っています。

昔は高压電線の下に住むのは避けていましたが、日本はほとんどん電化されて、現在ではどこにいても高压電線の近くにいるのと同じ状態になっています。家電製品やパソコン、携帯電話に囲まれ、そしてオール電化、電気自動車も普及しようとしています。

我々の身体も電子の流れで成り立っており、自然の中で地龍や水龍も電子の流れですから、その流

れを身体で感じていたわけですからこのまま周囲がほとんどん電化されていくと、身体の電子コントロールが狂ってしまうのです。

オール電化の家なんて恐いですよ。取って自分の家族の話をしますが、私の家内がガンになり、明日にでも死なない命であり、今日私は病院から来ているんですね。実は今の家に移ってから4年半で家内のガンが発病したのですが、実はその家はオール電化なんです。そこは好んで購入したのではないのですが、どうしても仕方なくそこを購入してしまっただけですね。

もちろんオール電化でもガンのなるわけではありません。自分で電子コントロールができれば、そういう苦難からはのがれることはできます。昔から仙術等いろいろな行法がありますが、あいつたものは自然界のエネルギーをコントロールする、すなわち自分の身体の中の電子状態を普通に保てるか、ということだと思います。

よく霊の作用といいますが、そういう霊のものはないですよ。こう言うと霊能者に恨まれますが、霊の作用で人間の身体がおかしくな

ったり、水子の霊がたたると言いますが、一番最初の經典に先祖の霊とか水子の霊とか書いてありませんよ。ああいうものは商業仏教の脅しのようなものです。昔飢饉があったときは、仕方なく子供を間引いたりすることは一杯あったわけで、その水子達がたたっていたら、今の日本人は皆たたられてしまいますよ。

我々がお経は死者にあげるものだと思っていますが、本当はお経は生きてある人のためのものなのです。自分が生きる上において、どうすれば釈迦牟尼仏が最終的に悟りを開いた境涯に立てるかという道程が書かれています。それを死んだ人にかけてどうなりましか。死んだ人に今から修行しなさいと言っているのと同じなのです。我々が肉体をもって修行できるのは三次元の世界です。

古神道と神道の違いについて、仏教の伝来以前と以後の違いだと言っている書物には書かれています。ところが、古神道の体系というものはないのです。教典ももちろんないですし、何も示すものがないのです。古神道というのは実は新しいのです。これは国学とし

て生まれたもので、賀茂真淵や本居宣長らの国学者によって体系づけられたもので「復古神道」とも呼ばれています。

古神道というのはむしろ、自然神道^①といってもよく、自然が相手のいわゆる「神ながらの道」のことを本来は仏教以前のもの、神の集まる場所^②杜（もり）が神社であったという考え方です。それ以後のいわゆるお社（やしろ）を造ってどうのこうのとなったのが、今の神道と呼ばれるものです。

特に伊勢神宮は、神明造り^③というものですから、神様しか住めないということになっていますね。ところが神魂神社（かもすじんじや）や出雲大社は、大社造り^④といって、これは玄関^⑤があって、階段があって、上にお社があり、そのご本殿の中には人が住めるように区切られています。

出雲大社の場合もご神座というものがありまして、ご神座にお供え物をするときに必ず箸を備えます。出雲大社の大国主命は実際にいらっしゃった方を神様としてお祀りしていますので。

天照大神をお祀りする伊勢神宮は神明造り^⑥といって、「心の御柱」

というものが立っていて、「心の御柱」の周りに五色の絹の織物が巻かれていて、ここに神が宿れている。ご神体は鏡（八咫鏡：ヤタノカガミ）だと言われていますが、鏡はご神体ではないと思いますね。

遷宮^⑦というのは、太陽というのが移動する神なので、その昔は実際に移動させていたんですね。

「元伊勢」というのが全国あちこちにありますが、現在の伊勢神宮に落ち着くまでに、何度も各地を移動しています。

この太陽信仰というのは全国各地にあつたわけですね。この太陽神の先頭になって祭司を司つたのは巫女です。女性しか神様はおりてこないと考えられていたのです。太古の昔から「日の巫女」つまり「卑弥呼」と呼ばれた方が必ず太陽に向かつて、祭司をされたのです。そのとき太陽の光を自分の身体に集光するのにもちいられたのが鏡です。「御神鏡」と呼ばれるものです。

神社や神棚に鏡があるのは、あれは太陽を反射させて自分に集光させるための道具としてあるのです。ですから必ず神棚というのは、太陽の入ってくる東側か南側を向

いていますね。それは何故かというところ、太陽の光をあ鏡に反射して自分のところにもってくるわけですね。

御神鏡はホームセンターなどでも販売していますから買ってきたら、朝皆さんが太陽を背に向けて、鏡を前にして反射した光を女性の場合は胸で受けます。男性は反射した光をおでこ（眉間）で受け取ります。ここに太陽エネルギーを集光することによって、自分の体の中のエネルギーが非常に強くなります。いわば太陽電池のようなものです。

だから昔からの修法の中で「太陽の印」というのがあって、両手の指で三角形を作り、それを自分の額にあててそこに太陽の光を集光させるのが、男性の古神道の行法の一つです。すべて自然のエネルギーをまず入れることが重要です。

特に日の出と日の入りの太陽光はずごく大きな意味合いがあります。日の出のときのエネルギーはこれから先自分の体を活性化しようとするエネルギーです。逆に日の入りというのはこれから自分の体が陰の方向でエネルギーを蓄えるときです。ですから仕事の場合

は仕方がないにせよ、夜中に身体を激しく活動するのは健康にも精神的にもよくないですね。従って夜中というのは、自分の体のエネルギーが収縮されるので、考え方も非常に陰にこもったものになります。

したがって活力をほしいときは日の出のエネルギーを入れなさいというのが陰陽道の行法の中にもあります。また陰陽道では、死者を生き返らせる方法として、夜中の丑三つ時(午前2〜4時)にその人の生命エネルギーを肉体に戻らせて、日の出のときにもう一度その人を還元させる行法があります。したがって我々陰陽師が依頼を受けて重い病気の方などを回復させようとするときには、この時間帯を使って祈祷します。

祈祷というのは、何も神様や仏様にお願いでどうこうというものではなく、要はエネルギーをいかにしてその相手方に届けてやるかということだけです。そのエネルギーの移動をいかにして時空を超えて相手に届けるかについては、いろいろな技術があります。

我々は病氣回復などの祈祷をするとき、よく相手の髪の毛を戴き

ます。髪の毛に生命エネルギーがまだ残留している場合は、回復する可能性があります。人間の身体も、自然ですから、陰陽道の古い文献をたどると「木・火・土・金・水」と日・月という七つのエネルギーの複合体でできています。その複合体の気もついている生命エネルギーがどこまであるかを診断し行法を行ったり、またその人の寿命が分かれます。

五月本部例会報告

「最新脳科学と透視能力」

講師 赤松 瞳氏

※関西日本サイ科学会の一月研究会報告と重なる所があります。

私は脳科学とか潜在意識とかいわゆる心の中の勉強を10年くらいしてきました。一番最初はこういって精神世界のことはあまり関心がなかったとか、ちょっと疑問深い人であったんですけど、

オーストラリアで10年間ほど勉強し、大学院で講師の仕事をしているときに、超能力者を警察で雇って、行方不明者を探し当てたり、遠隔透視をさせたりしているのを実際に見ました。私の大学の先生が犯罪心理学や催眠療法の専門家であり、超感覚的な分野の研究もしており、「ポリス・サイキック」と呼ばれる超感覚的能力を持ちつつ警察で働いている人々を私が現場で最初に見たときはびっくりしました。



こういった目に見えない世界とか私達が物理的に捉えられない以上のもので、私達は心とか脳を通して見ることが出来るのではない

かと思いついて、そこから大学院レベルで研究対象としてやっていくことが出来ないかということ、いろいろな大学の先生方と集まって、いわゆる俗に言う「超能力」といわれる分野を科学的方面から研究することになりました。そういう意味で私も「前世療法」など、人の過去世を見るお手伝いをしたり、将来を見たり、また瞑想やトランスの状態を通して、真意を自分で見つけていただくための誘導瞑想とか催眠療法を行ってきました。

そして今日ご紹介したいのは、ロシアとウクライナにおける研究です。ロシアとウクライナに関しては、心とか脳とか潜在意識とか超能力などの分野に関しての研究がものすごく進んでおります。私も世界中いろいろな国に行ってきたのですが、最近非常に霊的なものに目覚めている大人達が多いですね。前世を記憶している人々や未来を見ることが出来る人々、意識で空中から物を物質化する人々、壁の通り抜けができる人々など、そういった人々に私は実際に会ってインタビューをしたり、研究対象にしたりしました。

今日ご紹介するロシアのM

IHメソッドというのは、脳科学とか精神世界とか超能力研究の大変発達しているロシアが旧ソビエト連邦の時代から、国が巨額のお金をかけて研究を続け、完成した方法です。私がロシアに留学したときに実際に見た人々をご紹介します。例えば、目という感覚を使わずにもものを見たりする能力を、医療や障害者教育に応用したりしています。

私達は実際、脳の機能の3%から5%くらいしか使っていないというのを皆さんは聞いたことがありますね。ロシアのモスクワ大学やウクライナのキエフ大学の研究によりますと、いわゆる超能力をもっている人々の脳の活性化度を調べてみますと、我々が使っていない部分の脳を使っていたり、使っている脳の範囲が広いということが分かりました。

そして特殊なトレーニング方法、教育方法を施すと、実際使っていない部分の脳を活性化することで脳の使うキャパシティを上げてあげると10%、20%、50%以上の脳機能を使えることになります。科学者達の研究によりますと、念力や透視能力、予知能力等の超能

力、超感覚的能力は元々皆さんの脳に備わっていて、誰でも訓練を積めば、それらの能力を発揮することができるといことです。

今からお見せするビデオは、実際システムティックで体系だった教育を施すことで、そういう能力を身に付けることができるのですが、それを障害者教育に応用した例です。

●ビデオ紹介

ビデオ1：2010年1月お正月番組TBS「最新脳科学X最強超能力」

「元障害者(全盲、聴覚障害、身体機能不全など)であるロシア人男性サーシャ・レビット君が紹介される。能力開発を受けた人の例として、サーシャ君は、アイマスクをして日本の取材班がもってきた絵本の内容を説明する。サーシャ君は9歳で能力開発学校へ通う。サーシャ君によると、見えない世界をみようとするときに、まず意識を一点に集中させることで対象物の輪郭や色がぼんやり見え始め、そこにさらにフォーカスをするとう詳細も次第に見えてくる、という。」

科学的に脳の後頭部と中脳をうまくつなげてあげてトレーニングすれば、目を使わずとも物を見れるようになるということが分かっています。実際このトレーニングとか障害者教育センターにおいては、全盲の人にトレーニングを施すことで色を認知したりとか、物の場所が分かるようにしたりとか、文字まで見えるようになったというケースが多々報告されています。つまり目ではなくて、脳のとある一部分を使ってあげると、実際に物理的な目以上のものが見えるようになってくるのですね。

例えば、皆さんも普通に暮らしていて「気配」を感じることがありますよね。ですからこちらのトレーニングにおいては、目の見えないうお子さんにまず感じるという感覚範囲を拡げる練習をさせてあげるんですね。そしてさらに色を感じる練習をさせてあげると、だんだん色が見えるようになってくるのです。さらに脳力開発を続けていくと、物の形とか色を認識出来る以上に、細かい模様が見えて、さらには文字まで見えるようになっていきます。

ですからこのトレーニングを受

けることで、先ほどのビデオのサーシャ君は元々目が見えなかったのですが、だんだんと超感覚的にも見えるようになっていって、さらになおかつ物理的な視力も回復したという例です。

そして次にお見せするビデオではロシアとウクライナにおける授業の風景をお見せします。

ビデオ2：ロシア モスクワの能力開発学校の授業風景

「学校のトレーニングでは、代替視力を育てるために、アイマスクを使って視覚をブロックしている。まずは、脳内視力を育て、脳の後頭部(視覚視野)で見るトレーニングを行う。脳内視力が育った後には、外部視力が発達する。ロシアでは化学的にエクスターナル・ビジョン(external vision)という。(ロシアでいうエクスターナル・ビジョンは、米国でいうリモート・ビューイング[remote viewing]より広範囲の定義で使用されている)。授業では身体を回りのエネルギーを感じる練習をしている。それは、バイオエネルギーフィールド(生体磁場)と呼ばれている。気功

のようなエクササイズをしている。脳内視力を鍛えるために、瞬間記憶（カメラ記憶）(photographic memory)というトレーニングをしている様子やグリッドと呼ばれる方法を学習している。これらのトレーニングをすると脳内の情報処理がはやくなる。この訓練を行うことで未使用の脳が開発され、超感覚的能力が高まるという。デモンストラーションを行っている女生徒は、一目で解剖学の本を見ただけで、その本のページをいとも簡単に読み上げている。夢を見る時や、考える時の脳の解析により、脳科学や医学の根拠に基づいた方法でトレーニングを進めている。」

脳を直接使うことで外のものを見たり認識したりする、いわゆるリモートビューイングとか千里眼と呼ばれる能力は、17歳以下の子供達であれば3ヶ月くらいのトレーニングで100%全員ができるようになるというデータが出ています。科学者達が声を揃えて言うことには、このビデオに出ている子供達はごく普通の子供達であり、トレーニングを受けることでこういった超感覚的な能力が身

についています。もちろん17歳以上の方々でもトレーニングを地道に続けていけば、全員が出来るようになっていけると言われています。

●参加者からの質問

「今の訓練でも目を使わないでものを見るとするのは、脳そのものが受容器官でありかつ処理器官になっているのか、目とは別の感覚器官を通して脳が見ているのでしょうか。」

脳そのものが受信する器官として考えてもいいですし、脳以上にいわゆる私達の魂とか意識そのものが見ているという理論があります。実際こちらの教育機関においては、死後の世界や魂的なものや意識が存在するということを前提に教育方法が進んでおります。

元々物理的な器官の脳というのを見てみますと、赤ちゃんとして生まれたときに、まだ身体は未発達なのでどんだん体の器官、臓器が造られていく過程で、目という臓器も脳が成長して染み出して出てきたものが目になっているんです。ですから目は脳と繋がっており、元々目は脳の一部といえま

す。

私達が赤ちゃんのときは感覚器官がまだ未分化の状態です、まだ全部複合してくっついている状態なので、例えば赤ちゃんに音を聞かせるの色が見えています。ですから子供達が描く絵をいうのは、非常に抽象的で目とか口だけを描いたりしますよね。赤ちゃんのときには感覚器官が複合した状態であるいろいろなことを学んでいます。ですから赤ちゃんに物をあげると、まず触って物を認識しようとすると同時に、においでも認識しようとし、同時にいろいろなことを学んでいっています。

そうすることで私達の感覚器官が分化していつて脳が成長していくのですが、ここでのMIHメソッドにおいては、私達が元々赤ちゃんだったときの脳と感覚器官が未分化の状態までもつていつて、そしてその部分からまた発達させていくという練習をするのです。ですからにおいを嗅ぐという器官とか、触るといふ感覚範囲を拡げてあげて、そうすると私達が小さいときに誰でも超感覚的能力が発達していたと思いますが、その部分に戻ってさらにトレーニングを

続けていくと、そういった感覚を戻せるということなんです。

ビデオ3：ドイツのテレビニュースの紹介

「ほとんどの受講者が能力開発に成功している。感覚の範囲が拡がり自分の周囲を360の範囲で認識するようになる。言語能力も向上する。このトレーニングを受けた生徒は大学の成績も良くなる。脳のどのチャネルを使っているかの研究を行っている。開発には霊的なメッセージも受けており、チベット密教の聖者の協力もある。人類のバックアップがあつて開発されている。」

大人でも習得可能である。17歳以下なら100%向上する。80代でも本人の継続の努力があれば可能である。

今は初歩的研究である。いずれ材料工学とタイアップして材料の開発とか人体内部の研究など応用範囲は広い。

目隠しして合気道を行うこともある。本物の剣での試合も行っている。」

●赤松氏による透視実験

実験に先立って、目を覆うアイマスクを多くの会場参加者に穴などないか点検してもらい、赤松氏が部屋の外に出た後、長机の上に参加者から提供された物品20点をきれいに並べてから、赤松氏にアイマスクをして部屋に入っていた。

出題品は、扇子、リップスティック、双眼鏡、カロリーメイト、櫛、キーホルダー、定期ホルダー、パワーストーン、手帳、本、五千円札、お守り、写真等。

赤松氏は右手を上げて、アンテナのように前にかざしながら、端から一つ一つ見える物の特徴を述べながら、参加者が目で見ても何か分かる物は、それぞれの物の名を具体的に当てました。参加者から見ても何かよく分からない物はその見える形や質感の特徴をかなり詳細に述べました。定期券の持ち主の小さい文字での名前と電話番号まで読み上げたのは驚きでした。

透視実験が大成で終わった後、参加者から「どういうふうに見えるのか」という質問に対して、「集中力を要しますが、一つずつ顕微

鏡で焦点を合わせるようにして、だんだん詳細が見えてくる」ということでした。赤松氏は数年の訓練でこの能力を身につけたということです。



私はまだインスタラクターになって経験は浅いほうですが、私の先生方とかM I Hメソッドの第3段階目の授業を卒業した方は、例えばアイマスクをつけたままで、本棚にある本を直接手にふれず一字一句、すべての内容を読むことができません。それくらいの集中力とかフォーカス力とか脳のトレーニングを受けると、間違わずに全部見えるようになるんですね。

ですからリモートビューアーがいたら、書類の文章も読めますし、もっとトレーニングを積むと、物質の分子構造、原子構造、さらに素粒子の世界まで見えるように

なります。透視のエキスパートの方々が、例えばキエフ大学の材料工学科で雇われて、物質の分子構造を透視することで新しい材料を作り上げることに取り組んだり、さらに空気中の分子構造に意識的に働きかけて、空のコップの中に水を出現させたりすることもできます。

普通の化学の実験で、原子の配列や分子の配列を熱や力を加えたり化合することで変えて、新しい物質ができたりしますが、私達の意識も実はエネルギーなんです。ですから意識というもののエネルギーの使い方を学ぶとちよつとだけ押すことで念力、スプーン曲げが可能になったり、新しい物質を意識的に作ることも出来るようになるのです。

ビデオ4：ウクライナの障害者教育センター (IAHDセンター)

「元米大統領クリントンとヒラリー夫人がウクライナ障害者教育センターを訪問した際のビデオ。ウクライナ国内の代替医療の状況を説明している。

センターにおいては、脳性麻痺の方々の回復実例、眼球のない方

が代替視力(BV)を得て本を読むことができるようになった実例などが紹介された。

アメリカの超能力の研究は、軍事的が主であるが、ロシアやウクライナは社会福祉とか障害者補助とか、医学への応用が大事である。米大統領が、創始者の先生らに米国での市民権の移動も含め開発提案があったが、ウクライナ側は断っている。米国の軍事仕様であったリモートビューイング(スターゲートプログラム)ももともとロシアの超能力プログラムを基礎にしてスタートしたものである。

ウクライナ障害者教育センターにおいては、もともと人が持っている自然回復能力を向上させるために、氣の流れをよくするエクササイズを紹介している。回復実例が紹介された。：脳性麻痺で手足の不自由な子供たちが元気に歩いたり走ったりしている様子、糖尿病の大人や子供の回復、全盲の子供たちが見えるようになり周囲の人物の着衣を当てる、耳の聞こえない子供たちが聞こえるようになる、など。

氣の流れを整え、能力開発を施し、心身の回復がなされるだけで

はなく、結果的に大人も子供も超能力を習得した様子があるが、なぜこういうすごい教育方法が今まで日本とか英語圏に伝わらなかったのでしょうか。実は米国からもこのメソッドを開発した先生方を招聘して、教育センターを建て、病院も造って、米国民民として遇すお話もあったのですが、先生方がその意図を透視したところ、軍事や戦争の方向に使うことが見えたので、お断りすることになったのです。



第三百五十七回関西日本サイ科学会研究集会報告

「誰でもできる」

一日でできる気の活用」

講師 芳野 武人氏

とき 平成23年4月9日(土)
ところ 大阪科学技術センター

芳野氏経歴

TY(とつてもよいもの)ネットワーククラブ主宰。上海中医薬大学認定漢方診断士。中医薬養生指導士。エゴスキュー・ジャパン認定セラピスト。バンクシア・フィットネス(THD)講師。人呼んで気の達人。



気全般について

気とは何か。気の付く言葉を考える。

中国では? インドでは?
ハワイでは? アメリカでは?
気の特質・形で動く、言葉で動く、意識で動く
などのお話と、気の活用技術を実践して頂いた。

「気」を扱うにはコツがある。それは

1. 「気」の性質(特質)を知ること。
・ ・ ・ 見えなくても性質がある。
2. 同じ方向性を目指す仲間を作ること。
・ ・ ・ 同じ方向を持った仲間と一緒にやると、ひとつのエネルギーの場ができる。シンクロニシティ(共時性)と気づきが高まる。
3. 時代が「気」を認識したことに気づくこと。気が使える時代になり、気は市民権を得た。気の世界では100匹目の猿現象は始まっている。以前できなかったことが簡単にできるようになった。
4. 楽しみながらやること。ワイワイ楽しくやると高い気とパツとつながる。

これらを認識して、練習をしていくと1日で「気」が扱えるようになり、1ヶ月も経つと気の使い手になる。

ここで先生の指導により全員実技を行う。

両手を身体の前に出し、両手の爪どうしを合わせて1分間ほど擦

る。両手を5cmほど離して合掌の形を作る。両手を頭の上へ上げ、ひじを曲げて、両手の間に気のボールを作り頭の上に置く。

これら4つのコツについて
1. 「気」の性質(特質)を知ること。
性質の前に、少し「気」について考えてみると、日本語には「気」の付く言葉が非常に多くある。辞書には1,000以上もある。

天気・電気・空気・気候・気象・高気圧・低気圧・陽気・陰気・運氣・精気・気性・元気・病気・気持ちが良い・気がいい・気をつける・気がつく・気が狂う・気が散る・気が多い・気がめいる・気が短い・やる気・気をもむ・根気：等々。

「気」の付く言葉は、日本人にとっては昔から身近なもので、気づかぬままに日常的に使っている。

「気」を辞書(広辞苑)で引いてみると、

イ 天地間を満たし、宇宙を構成する基本と考えられるもの。
ロ 生命の原動力となる勢い。
ハ 心の動き・状態・働きを包括的に表す語。

二 はっきりとは見えなくても、その場を包み、その場に漂うと感ぜられるもの。

ホ そのものの本来の性質を形作るような要素とある。

分かるような分からないような表現である。

では、外国では気をどう扱っているか。

中国：気と書いてヒまたはチと呼んでいる。中国古典の哲理である陰陽五行説では、一切の万物は陰陽二気により生じ、森羅万象は、五行（性質の異なる五つの基本的なエネルギー）の関係によって起こる、としている。

インド：プラーナ（生命の元）と呼んでいる。これを取り入れて70年間飲まず食わずにすごした人がいると言われる。

ハワイ：マナ（聖なる気）と呼んでいる。ホ・オポノポノのハの呼吸法を行うと呼吸と一緒に入ってくる。ヒマラヤ聖者が行うものにもよく似た呼吸法がある。

アメリカ：サトルエネルギー。見えない微細な力の総称として呼んでいる。

このように、いずれの国においても、気はエネルギーとして扱われている。

もう一度、広辞苑を引いて気を読み返してみると、

「気」は、「もの」にも「心」にも「場」にも「生命」にも一切のものに關与しているエネルギーとして浮かび上がってくる。そうしてみると、「天気は天のエネルギーの状態」「電気は、いなびかり（電）のエネルギー」「空気は空間のエネルギー」「病気はエネルギーが止（病んだ状態）」「元気は元々のエネルギーの状態」と解釈するとだんだん分かり易くなってくる。

気はエネルギーなのでエネルギーの特徴を掴んでおこう。粒子性と波動性という二つの性質をもっている。

波動性の特徴として、①優位は劣位をコントロールする。言い方を換えれば高い気が低い気をコントロールしていく。②フィードバックの法則。良い気を出せば良い気が返り、悪い気を出せば悪い気が返ってくる。憑依現象はフィードバックの法則から見れば、じつ

は発信者が悪い気を出したものが返ってきただけである。これを防ぐには高い気とつながればよいのである。さらに付け加えれば高い気とつながって地中深く導けばよい。一種のアースである。ざっとこんなことを頭に入れて、「気」の性質に触れてみる。

気の性質（特質）

1. 気は形で動く
2. 気は言葉で動く

このことを参加者に〇リング法で確認してもらった。相手を罵倒する言葉は自分に返る。

洗心の言葉を使うのがよい。

3. 気は意識で動く
- 意識を向けたところへ気は流れる。悲惨なテレビばかり見ていると体調を崩す。

ここで全員実技を行った。

気のボールを作り頭の上から下へ降ろすのである。

この時、色（光）をイメージするのが効果的である。

白 黄金（バランスがとれた時）

黄金律（三次元としてバランス）
気は、形、言葉、意識、以外にも光・色・音・香とも共振共鳴する。

気が流れてから、血液が流れ、リンパ液が流れるのである。

ここで芳野氏はかなり時間をかけて、参加者全員に対して一人ずつ気の流れを良くするクリーニング作業を行った。

三次元の肉体から出る気が大事である。

基礎となる必要なものは体を動かすこと（体操）であるが、それには、エネルギーを消耗する体操（ラジオ体操など）、とエネルギーを取り入れる体操とがある。云うに及ばず、エネルギー（気）を取り入れる体操が重要である。

気をだす方法

1. 言葉 ありがとうございますなどの関先生の言われた洗心の言葉がよい。
2. 意識、イメージ 思い

（宇宙の中心からの）白光が自分の頭に燦々と降り注ぐ。

気は手からも出るが目からも出る。

実際全員で行い、レモンに気を入れて味の変化が起こることを全員確かめた。

またオリンピック法による確認も行った。

気を入れるには、手で入れる、目に入れる、イメージで入れる、の三つの方法がある。例えば食物にエネルギー順位の高い気を入れると味が変わる。

聖書では神が人(アダム)をつくるときに息吹から出る気で作った。味はまろやかとなるのが多い。風呂にやるとよい。酒、ワインにも効果がある。ジュードカリバン量子力学学者、考古学者、ヒーラーは「癒しは超物理的な因果性という段階から始まりエネルギーとなって流れ始める。」といっている。心と身体と宇宙をつなぐもの、それが気である。そうすれば想いが実現する。

☆ ☆

気が身近なものであることについてわかりやすい説明があり、さらに気を出す実験、その気を感じる実験、また味を変える実践で気が出ていることを体験することができ、また各人の体の気の回路をクリーニングして頂いた。今後更に自分で応用を深めたい。

当日の参加者は会員14名、非会員13名、合計27名でした。今回のカセットテープは20000円です。ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村(電話0797・22・6425)まで。

今後の予定

9月17日(土) 井出治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」
10月15日(土) 阿久津淳「2012年問題とサイ科学的進化」
PSI Scientific Evolution & 2012、

関西日本サイ科学会会長

河野 明夫



<サトルエネルギー学会主催 '11秋の大会(日本サイ科学会協賛)のお知らせ>

秋の大会テーマ 新生(神聖)日本が世界を変える (大会委員長 米田 晃)

講演・実演者(予定) 倭 瑠七、森 美紀子、添谷 まり子、帯津 良一、
(敬称略) 根岸 秋吉、天野 聖子、神矢 真悟、植田 睦子

日時：平成23年10月8日(土) 開場12:00 開演12:50 終演18:40

会場：(財)修養団SYDホール JR「代々木駅」徒歩5分(東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2)

公式サイト URL：<http://www.subtle-eng.com/index.html>

【お申込み要領】 FAX 03-5730-6451 サトルエネルギー学会 シンポ大会係

FAX記載項目：氏名・住所・TEL・チケット枚数・合計金額

料金：予約料金：サイ科学会員・サトル会員価格同一 ￥4,000 (一般予約￥6,000)

【振込先】 お申込みと同時に下記宛お振込み下さい。ご入金確認後チケットを送付します。

郵便振込み先：00170-1-196569 サトルエネルギー学会

主催：お問合せ サトルエネルギー学会 03-5730-6450

E-mail infomation@subtle-eng.com

の反応も返ってこないはずです」、と書いてある。

- (5) 身体まわりに「生体磁気」を発生させる能力のある事で有名なTS師の、ご自身による未知能力講演会が2010年2月20日に開催された(サイ科学会月例会)。感銘を受けたが、一部分のみを報告する。(5-1) 携帯が発する電波や、物を叩いた時の音に、つまり、物に乗せて気を飛ばすとよい。(5-2) 気が出る時は、両耳が聞こえなくなる。(5-3) 植物への気の注入は、水を介して行う。一般に、水にカルキが混入している場合には注入出来ない、しかし植物灰を入れるとカルキは取れて注入できる。(5-4) 何も感じていない時に外気が注入される(無念無想)。(5-5) 外気がくると、耳鳴りがする。また腸が痛くなる。(5-6) 気について水と音は大切である。(5-7) はだか火(燃す)があると、気は動きやすい。(5-8) 暗いと身体が動いている感じになる。速度大の乗り物は苦手である。その他。
- (6) 研究者と能力者(訓練による)を兼ねているHA師からロシアやウクライナに於ける未知能力開発学校、並びに實習・訓練の報告・講演があった(2011年5月14日、サイ科学会月例会)。感銘を受けたので一部分を報告する。(6-1) 意識集中により、未使用の脳部位を使用する事(5から80%)による非眼視覚(透視、RV)開発訓練である。(6-2) 感覚を磨く為に「めかくし」をする。(6-3) 音を色でみる。文字や図形を感覚でみて答える。つまり、形、色、模様などを感じ取る。(6-4) 感覚の焦点を絞り込むと、分子、原子、素粒子等視覚の範囲を越えて見えてくる。(6-5) イメージで見る、または感覚的にみる。(6-6) 訓練として、チャクラや生体エネルギーの流れを手かざしで調整する。オーラはその人自身であり、指紋のように、個々別化されている。(6-7) 脳科学研究として国の助成金を得て、通常科学として、体系化がすすんでいる。17才以下の子供はほぼ100%が可能である。病院や学校で訓練しており、障害者訓練にも応用されており、HA師はインストラクターでもある。講演や

紹介されたビデオをみると、中国が実施している気功や、催眠を用いた我々の能力開発の訓練と、基礎的な部分では、共通性があり、又は同一であるともいえる。

- (7) 来日中の趙偉、干永昌、張永詳の3名の気功師をお願いして、練功中の生体の電気特性として脳波、皮膚表面上の機械振動(MV)、経穴のポテンシャル(本山式AMI)を測定した(佐々木茂美、小林泰樹、サイ科学、1989、12-1、pp.17-24)、結果として、外気放出時には経絡系は平衡安定化し、大脳や皮膚などではリラックスと緊張が同時に進行する傾向にある。気功師と受け手間の変化をみると、経絡系では送り手と受け手の間でシーソーゲーム状の電気ポテンシャル変化があり、気功師は、揺すぶりをかけて受け手の気を流通させている様子が推定される。また自律神経変化は経絡系とは別である事が判った。さらに受け手の外気放出時の機械振動(MV)をみると、高並びに低周波域まで拡張し、さらにパワーもより大になる傾向があることが判った(ibid、12-1、pp.25-32)。

4) 検討と考察

上記を纏める、(a) 心理的な条件が重要である(1、2-1、2-3、2-4)。(b) 無意識(シーター波)に関係する(2-1、2-2、3、4、5-2、5-4、5-5、5-8)。(c) 感覚とイメージが重要(2-2、2-3、2-4、2-5、6-1、6-2、6-3、6-5)。(d) 意識や感覚の集中が必要(6-1、6-4、7)。(e) 縦波(音)や横波(電磁波)を搬送波として伝達する(5-1、7)。(f) 生体エネルギー(チャクラ)やオーラ(エネルギー層)に関係する(6-6、7)。(g) 水や活性化(火)に関係する(5-3、5-7、5-8)、事がわかる。以上より、未知現象生起には心理的な条件設定が必要であり、リラックス集中を行い、意識を薄めて変性意識状態(無意識に接近)となり、体内の生体エネルギーを活性化して、音や電波を仲介(搬送波)して、気を放出している、と推定する事が出来る。

生命体の先頭にあると言われる人間は肉体(物)と心(意識)を持ち、マクロな物質世界で生活している訳であるが、この奥には、物質を構成するミクロな素粒子の世界があり、理性や知性としての意識(常識、心)の奥にはこれを支える無意識層や集合的無意識層の世界がある。これらの奥の世界は、我々の住む世界とは別の異質の世界なので、常識では推定する事すら出来ず、また「見えず、聞こえず」なので、再現性や因果律が成立し難い面がある。しかし、真の満足は無意識層を浄化することにあると言う意見もある。奥の世界を構成する「素粒子と無意識層の相互間の作用に、どの様な機構が隠されているのか」、「それらをどの様に究明するのか」、「人々の幸福と、それらは、どの様な関係にあるのか」が問題になる。

著者らは、これらの問題を取り扱いたいと希望している。一例として、人々の集合的な意識(無意識)と感情は、ランダムに放出される素粒子に働きかけて、そのランダム性を壊し、秩序化する事実のある事が判り、地球規模(約100個所)の意識・感情調査プロジェクト(GCP)が、今、進行中である。これは集合的な精神(無意識、感情)と物質(素粒子)の相互作用を調査している事を意味している。

まれではあるが、我々が直接経験する現象の一つにマクロPK(念力)である。研究によれば、この未知現象の根底には素粒子と無意識層の相互作用の存在が推定されている。さらなる機構の解明や証明には、数多くの事実や実験結果が必要である。しかし、上述したように、未知現象はまれにしか生起しないので、個々の事例は貴重なものとなる。

3) 未知能力生起の事情

福来友吉(1910)によって透視・念写が発見された(紘福来超心理学研究所報告、No.I、昭和36年)。

- (1) 心理条件が微妙に影響するので、信頼され、好意をもって貰う為に、いろいろの面で努力する必要がある(その他、文献参照)。
- (2) 実験(1974～2010年)の条件設定として、著者らが知り得た事例を略述する。ただし、記憶が不完全の場合もあると思う。(2-1)実

験者や立ち会い人の意識(無意識)が実験結果に現れることがある。つまり、MK師の念写テストの際、例えば「3枚目に上から下方向に光を入れる」と、実験者が念じ、誰にも話さないで置く。これがMK師(功能者)に反映して、その通りの結果が得られた。別に2回経験した。なお福来実験の場合にも同一内容の結果があった(福来著書、参照)。(2-2) 実験者が計画・希望するような結果を、被験者が感じ取って、その様な結果を出してしまう。つまり実験者が変わると、同じ実験でも結果が変わる場合がある(例、宮内力と佐々木茂美)。他の場合も含めて、(2-3) 実験を成功させる為には、動機付け、納得して貰う、なんの為に、等を理解して貰う(例、研究目的、物を貰う。約束を果たす、興味を持って貰う、ああそうか、等)。(2-4) 実験者と被験者間にラポール形成が有るとよい(恋人同士間の状況)。(2-5) 勇気づける(ほめる、びっくりする)。(2-6) リラックス集中が必要。実験の雰囲気緊張していると、サイ(気)は出てこない。例えば、知らない人が1人加わると(周りに)、雰囲気が変わり、サイ(気)は出てこない。談笑しながら、4～5時間程度も待たせると、実験者と監視人のみんなの気がそろい、サイ(気)は出てくる様になる。

- (3) 政木和三師は、様々な未知能力を保持していた(サイ科学、32-1, pp.186～7)。昼間の普通の生活(言動)でも、意識(常識)と無意識(幻覚、夢)を併置している発明者・未知能力者の雰囲気を持っており、常識と非常識が同居している行為があったと思う。また本人は「私の脳はいつもシーター波だ、シーター波が重要だ」と述べていた。
- (4) TBSテレビ未知能力取材班が4年間(1990～3)にわたって報道した番組「ギミア ぶれいく」等で活躍した少年、少女の一人、T.Tちゃんの透視時の様子が「人体科学会NEWSLETTER, No.5, 1996, p.36」に報告されている(治部真里)「そのときのT.Tちゃんの目は、瞳が開いているのにもかかわらず、まるで何も映っていないかのようでした。たとえ目の前で手をふったとしても、何



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

未知能力・現象の出現状況(1)

佐々木 茂美

1) はしがき

未知現象は精神(感情)と物質に関係しており、その出現(生起)はまれな事象なので、観測・経験した事実を「データ・ベース」として歴史に残すべきであると考えております。未知能力を保持している未知能力者並びに関係者は、保持する様々な事実並びに観察した事実等を公表して戴きたい、とお願いする次第です。

「心を科学する博物館の設立準備委員会」では、事業の一部として、「未知能力のデータ・ベース化」を実施しております。今までは主として研究者と未知能力指導者が登場しておりましたが、これからは気功師や未知能力者(功能者)にもお願いし、さらにお許し頂ければ国単位にまで範囲を広げさせて戴きたいと考えております。一方、重要ではありますが、論文に書き難い問題、例えば「準備、雰囲気、感情、仕草、思い、等」因果律や再現性にそぐわない問題も重要であると思います。本稿では、筆者らが知り得た「未知能力と未知現象の出現の状況」、「その検討と解釈」等を記述することに致します。

2) 問題の存在

近代科学は何時、どこで、誰でも、何回やっても、同じ結果が得られると言う再現性と因果性を基礎にしている。我々の住む生活空間

は、縦、横、高さから成るマクロな3次元空間であり、時間は昨日、今日、明日と言われるように「時間の矢」(一方向に)として、流れている。作用や機能としては、エントロピー増大(無秩序化)への方向性をもっていて、基礎になっているのは、古典的と言われる物理学や電磁気学等である。約400年も昔の17世紀のデカルトによって、物と心を分けて解釈する二元論が提案された。それ以降の現在にいたる物質科学は、意識(心、精神)面を除外して、我々に空前の進歩と繁栄をもたらし、多くの人々は衣、食、住の基本的欲望の満足をほぼ満たす事が出来る様になってきた。

しかしこれで総てが充分できるかと言うと、そうではなく、心と物のバランスが必要である。心底からの「安らぎ」や「リラックス」等、優しさと精神面の充実が求められることになる。真の満足と幸福は、精神面を充足する事によって得られる、と言われている。例えば我が国において心の傷害、雇用、その他様々な理由から自殺する人達が年間3万人以上もいて、しかも壮年層が多く、これが13年以上も続いている、との事である。他方、別の面を見ると、これらとは異なり、微生物や植物ならびに動物や人間等の生命体は、生きると言う目的に向かって成長するというエントロピー減少(秩序化)への方向性等を持っている。つまり、生命と物は別である事がわかる。